

平和を守るには戦争を知るべし

To:

2023/06/04 22:21

[画像を表示](#)

転送歓迎

配信不用の場合はお手数ですが返信にてお知らせ願います

葉は単なる符号にはあらず、言葉は人間が作りたる世界なり

人は以言伝心、乞う発信。そして返信、全員に返信して語りませう。

今日は天安門事件 34 周年です。

以下引用

六四天安門事件

(ろくしてんあんもんじけん)は、[1989年6月4日\(日曜日\)](#)に[中華人民共和国・北京市](#)にある[天安門広場](#)に[民主化](#)を求めて集結していた[デモ](#)隊に対し、[軍隊](#)が武力行使し、多数の死傷者を出した事件である。第二次天安門事件。血の日曜日事件。

通常「[天安門事件](#)」と呼称する場合はこの事件を指す^[1]。

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%85%AD%E5%9B%9B%E5%A4%A9%E5%AE%89%E9%96%80%E4%BA%8B%E4%BB%B6>

引用終わり

私の友人は民主化を求めて連日天安門に行き、遂には軍隊の発砲により目の前で人々が殺されるのを見たそうです。彼は中国にいるのが嫌になり連日日本大使館前に行列を作って visa を取り、来日して日本で就職しました。彼から話を聞いて数日は私も衝撃が消えませんでした。

この 34 年の間に中国は経済的には大発展したけれども政治的には退化したと思います。その非民主的政治体制と覇権主義はアジアの安全の脅威になっているのではないのでしょうか。

平和を守るには戦争を知るべし

これは健康を守るには病気を知らなくてはならないのと同様です。大日本帝国は日露戦争の勝利から大鑑巨砲主義にとらわれて大和、武蔵、長門など

の馬鹿でかい戦艦をつくりましたが、第二次世界大戦の時は飛行機の時代になっていたので全くの無用の長物と化していました。

ウクライナへのロシア侵略戦争を見ると現在はミサイルの時代です。大日本帝国軍は末期症状として特攻という狂作戦を強行しましたが、それは正にミサイルのはしりでした。現在は鉄壁のミサイル防衛システムこそ平和の礎です。現にウクライナの首都キーウにロシアが執拗にしかけるミサイル攻撃は殆ど撃墜されています。マイコンを国内生産できないロシアの在庫はもう殆ど尽きていると思います。北朝鮮のミサイル攻撃に対して完璧なミサイル防衛システムを確立すればその核兵器開発は全くの徒労に終わるでしょう。核兵器絶滅のためにはそれを無用化する事が最も確実な方法だと思います。

戦争と平和について学ぼう

私は戦争に関する本や資料を多く集めていますが、愉快なものではないのであまり読んでいません。特に戦争孤児、従軍慰安婦、シベリア抑留、戦死者の遺族関連の資料を読み進める事は苦痛です。しかし世界平和のためには戦争についてその本性を究める事が必要だと思います。

戦争孤児

戦争の最も弱い被害者は戦争孤児です。平和主義で鳴らす日本国は戦争孤児を親類に押し付けて自らの責任は全く果たしませんでした。食糧難の時代に親類に押し付けられた戦争孤児は厄介者として疎外、酷使、虐待されました。毎夜上野駅を埋めた戦争孤児で明明白白だったその救済を怠った日本国の汚点を我々日本人は忘れてはなりません。後期高齢者に入ってから戦争孤児達が国に対して謝罪と補償を求めて起こした裁判に対する最高裁の判決は「日本国は軍人と役人には雇用関係があったので保障したが、戦争孤児とは雇用関係がなかったので保障する義務は無い、よって原告は敗訴」なるものでした。大日本帝国が「子供は天皇の赤子」と称して進めた軍国主義の欺瞞は全くその人間性を疑わしめるものです。

6.9 全国空襲連院内集会

裁判は敗訴となっても戦争孤児達が起こした裁判と戦争被害者救済法の立法を求める運動は歴史的な意味があると思います。子孫に自分達のような苦しみを味わわせたくないという戦争孤児、即ち私達の先達の努力を紹介します。関心のある方は参加願います。

記
名称 「6・9全国空襲連院内集会」
日時 6月9日（金）13・30開会～16・30閉会予定
会場 衆議院第一議員会館地下1階・大会議室
テーマ 戦後78年
救済法実現まであきらめない！

会次第

- 一、 超党派空襲議連の現状報告
- 一、 今通常国会での取り組み報告（黒岩哲彦委員長）
- 一、 今後の方針についての協議
- 一、 アピール

6・9決起集会のZoomリンクになります。

<https://us02web.zoom.us/j/87907453776>

ミーティングID: 879 0745 3776

【連絡先】 080-2017-4768

gamou@jcom.zaq.n

戦禍を憎み平和を祈る

第5回

東京大空襲を忘れない“平和の集い”

1945年3月10日

- 私達は忘れません。
78年前、一夜にして奪われた10万人の「命」を！
あの「東京大空襲」を！
- 私達は訴えます。
「戦禍」の悲しみを！「平和」の大切さを！
- そして、
ウクライナの戦火が1日でも早く消え去ることを！

日時: 2023年7月2日(日)~4日(火)

絵画・写真の展示 (無料) 2階展示室

7月2日(日) 13:00~18:00

7月3日(月) 10:00~20:30

7月4日(火) 10:00~13:00

イベント 7月3日(月) 2階ホール

第1部 (無料) 13:00 (開場) 13:30 (開演)~15:45

合唱 混声合唱団「この灯」

朗読 高田敏江

映画 「ペーパーシティ」

第2部 (有料) 18:00 (開場) 18:30 (開演)~20:45

演劇 「あの夏の絵」(青年劇場) 全席自由

チケット 当日3,500円(前売3,000円)

高校生以下無料

場所: 江東区文化センター

金田茉莉著「戦争は弱者を犠牲にする」

金田茉莉さんは戦争で孤児になりました。親類に厄介者されただけでなく、叔父に財産を横取りされました。私は金田茉莉さんの「大東亜戦争と戦争孤児」を読んで初めてこの問題の存在を知りました。よろしければ個人または図書室への購入をご検討下さい。

戦争は弱者を犠牲にする

金田茉莉・前川喜平・海老名香葉子（寄稿）

発行（有）くんとらの

本書の著者金田茉莉氏（吉川英治賞受賞者）は自らの戦争孤児としての体験まことめ記録し、戦争の本質は正義のためと称して「弱者を犠牲にする」ということを伝えたいと思って本書を書きました。

著者の戦争の体験は遠い昔の話ではなく、現在の同じ時代に生きている人の体験です。その体験を伝え、そして戦争と教育は密接なものであり、教育の在り方などを元文部科学省次官の前川喜平氏と対談した内容で本書は構成されています。

初代林家三平師匠の奥さんの戦争孤児であった海老名香葉子氏の東京大空襲の被害者への「哀しみの心」を伝える「寄稿」も収録。

全国の書店、アマゾン・楽天・HONET等のインターネット書店でも買えます。

写真右・金田茉莉氏
写真左・前川喜平氏



四六判上製本 128頁
2023年4月18日発売
日次

第一章
戦争孤児として今伝えたいこと
初めに
知識人よりも国が大事なんだからか

第二章
戦中・戦後の体験と闘い
第一章 孤児としての私の体験
第二章 戦争は弱者を犠牲にする
第三章 「哀しみの心」を伝える
第四章 少佐も戦争に巻き込まれた
おわりに

左の住所を書店様にお
送してください

戦争孤児に関する更なる情報には下記 URL をご覧ください。

全国空襲被害者連絡協議会 <http://www.zenkuren.com/index.html>

戦争孤児(日本) <http://www16.plala.or.jp/senso-koji/>

+++++

+ 市吉 修

+ 二十一世紀を楽しく生きよう会

+ HP ; <http://www5e.biglobe.ne.jp/~kaorin57/>